

大人と子どもを繋ぐ 絵本 BAR

阿部研究室 A20AB012 岩間彩華

背景と目的

書店は、その場所では得られない誰にとっても気軽に行ける素敵な場所だと考えている。本屋は減少傾向にあり、私自身本屋がこのまま減少し続けることに寂しさを覚えていた。生き残り策の一つの形として独立派と呼ばれる個性的な書店が増えつつある。そこで、本を売る店の可能性をさらに広げることにはできないかと考えた。

「1日を通してターゲット層を変え、顧客が途切れない工夫が必要」



訪れた本屋

ターゲット層を絞っているため、営業時間が短い。



そこで、

「絵本の販売をする空間と、酒類を提供する空間を同時に成立させる」



1日を通して幅広い世代に来てもらえる本屋になるのではないかな。

本研究では、本の販売をする商業施設の可能性を広げることが目的に、限られたスペースの中で昼と夜のターゲット層・営業形が変わる個性派絵本バーを提案する。



×



×



敷地概要



【図1】

周辺環境

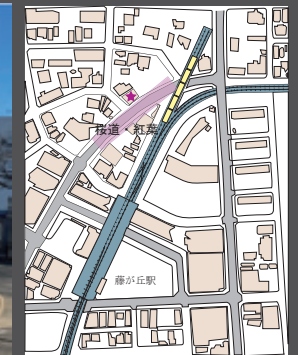
- ・藤が丘駅の1日の平均乗降客数は約4万5000人である。
- ・イオンモール長久手やIKEA長久手などの大型商業施設や、ジブリパークとして知られる愛・地球博記念公園など、ファミリー層のおでかけ先として人気の高い長久手市への乗り換え地点として利用される。
- ・幅広い世代の方が住んでいる地域であり、子育て世代が増えている。
- ・駅近郊には大きな公園が多く、治安面もよいことからファミリー層に人気のあるエリアである。
- ・藤が丘駅周辺は、緑が多く、春は桜並木【図1】、秋は紅葉がとても魅力的で見ごたえがあり、四季を感じられる。



【図2】

敷地の特徴

- ・店舗から見て斜め左方向に電車が見える。また、道路沿いの並木が春には満開の桜、秋は紅葉を楽しめる。【図2】【図3】
- ・店舗から見て斜め右方向は道路沿いの桜並木や紅葉を楽しめる。【図3】【図6】
- ・店舗正面も同様に桜並木や紅葉を楽しめる。【図3】【図7】
- ・駅から徒歩3分の場所にあるため、近隣住民だけでなく地下鉄利用者も利用しやすい立地である。
- ・線路に対して道路が斜めに伸びていることに加え、遮る建物がないため、「桜並木 × 紅葉 × 電車」の景色はここでしか見られない。【図3】
- ・藤が丘駅から店舗までの道のりも桜並木や紅葉を楽しむことができる。
- ・幼稚園や保育園が近くにあるため利用しやすい。
- ・道路に面しているため人目に付きやすく、ベビーカー利用者も利用しやすい。



【図3】



【図4】



【図5】



【図6】



【図7】



【図8】



【図9】

事例調査

本屋の現状

年度	書店舗数	年度	書店舗数	【本屋の推移】
2003	20,880	2013	16,602	2003年 2万880店
2004	19,920	2014	14,668	↓
2005	18,606	2015	14,468	2013年 1万1495店
2006	17,911	2016	14,098	↓
2007	17,323	2017	13,576	2022年 1万1495店
2008	17,383	2018	13,058	↓
2009	17,187	2019	12,663	約20年で本屋の数は半分まで
2010	16,986	2020	12,343	減少している。
2011	16,722	2021	11,962	
2012	16,371	2022	11,495	

【考えられる要因】

- ・オンライン販売の主流
- ・雑誌・コミックの不振
- ・出版不況
- ・紙媒体減少
- ・若者の活字離れ
- ・利益率が低い

【本屋が残存するには】

本屋ごとの個性

- ・ジャンル分け
- ・店主のセンス

コンシェルジュ化

イベント化

本屋にカフェや雑貨販売など付加価値を付け加えることで生計を立てる本屋が主流となっている。

本屋+●●の形をベースに新しい本屋が増えている。

事例調査の経緯・流れ

本屋が減少を少しでも抑えたい

↓
本屋の魅力を知ってもらうために、
まずは自分が本屋について詳しくなる

↓
調べていくと、需要がある本屋には本
以外の魅力があり、その魅力は本屋に
よって異なるため、店主の個性が出て
いると分かる

↓
限られたスペースの中で個性を発揮して
いる小さな本屋に魅力を感じた

↓
私の設計を通じて限られたスペースの工
夫次第で変わる本屋の可能性を広げたい

愛知県に留まらず、
全国の特徴的な本屋を調べる

インテリア設計

【気になる本屋の特徴】

- ・個人経営の小さな本屋
- ・本以外の魅力がある
- ・個性的でオリジナルの工夫
- ・隠れ家的な要素
- ・室内でも緑を感じる
- ・椅子の種類が複数ある

本屋の調査

【本屋検索】

目的 : 全国の個性豊かな本屋調べ (4月～7月)
検索エンジン : Google
検索方法 : Google 3ページ目まで
(Instagram)

検索ワード 本屋

↓
検索ワード 本屋 都道府県別

【検索ワード一覧】

通いたくなる	自然	独立系	こだわり	酒
個性派	お茶	個性的	植物	水に浮かぶ
居心地のいい	ごはん	隠れ家	雑誌	歴史
長居	スイーツ	小さい	寝れる	行きたくなる
遊べる	ブックカフェ	大きい	アナログ	景色
雰囲気	レトロ	映える	明るい	セレクトショップ
複合	音楽	ユニーク	暗い	移動
まち	ホテル	変わった	古民家	
川沿い	映画	オシャレ	イベント	
休憩	勉強	変	駅	

①CENTER



読書スペース	○	【住所】	愛知県名古屋市中区新栄2丁目1-9 雲竜フレック
勉強スペース	○		スビル東館1F
コンセント	○	【特徴】	・中古本を取り扱っていて、その場で読むことも購入
カフェ	○		することもできる。
外から分かる	△		・比較的綺麗な状態のものばかりで定価の半額ほどの
立地	△		商品が多く、手に取りやすい価格帯である。
駐車スペース	×		・Wi-Fiやコンセントもあり、作業場としての利用価
特徴的な要素	○		値も高い。
内観の工夫	△		
外観の工夫	△		
車いす ベビーカー	○		

②喫茶とちようど品 エントワ



読書スペース	○	【住所】	岐阜県大垣市中川町2丁目1088
勉強スペース	○	【特徴】	・蔵を改装していて、本、カフェ、焼き物等の販売
コンセント	○		スペースがある。
カフェ	○		・本の販売スペースは静かで、二階の窓から街並み
外から分かる	△		を一望できる。
立地	△		・椅子はそれぞれ目線が合わないような配置であっ
駐車スペース	×		た。
特徴的な要素	○		・注文方法が特殊で遊び心があり、ジブリの世界観
内観の工夫	○		のような不思議な感覚を感じた。
外観の工夫	△		
車いす ベビーカー	○		

③大吉堂



読書スペース	○	【住所】	大阪府大阪市阿倍野区阪南町3丁目12-23
勉強スペース	○	【特徴】	・10代をテーマにした古本屋として「10代の心を
コンセント	○		刺激する本」を扱っていて、子どもが気軽に使える
カフェ	○		場所を店内につくことを目的としている。
外から分かる	△		・大通りから少し外れた住宅街の中にあるため、
立地	△		人通りが少なく集客には向かないが、子どもたち
駐車スペース	×		の穴場スポットとしては最適な場所だと感じた。
特徴的な要素	○		
内観の工夫	○		
外観の工夫	△		
車いす ベビーカー	○		

④の君に本を



読書スペース	○
勉強スペース	×
コンセント	×
カフェ	×
外から分かる	○
立地	○
駐車スペース	×
特徴的な要素	○
内観の工夫	○
外観の工夫	△
車いす ベビーカー	○

【住所】大阪府大阪市中央区瓦屋町1丁目2-11 からほりかわらやえん103号 シャトー瓦屋苑

【特徴】・「のてがみ」という人と本をつなぐお手紙の制度がある。
・絵本の心に残るページを室内装飾に利用している。
・定期的に読み聞かせイベントを行い地域との交流を図っている。
・親子の利用者だけでなく、大人同士が来ることも多い。

⑤絵本のトコロ



読書スペース	○
勉強スペース	×
コンセント	×
カフェ	○
外から分かる	○
立地	○
駐車スペース	×
特徴的な要素	△
内観の工夫	○
外観の工夫	△
車いす ベビーカー	△

【住所】兵庫県神戸市灘区永手町3丁目3-8

【特徴】・絵本専門の本屋&カフェ。
・週末は奥の部屋でお酒を飲める仕様になる。
・室内は木や緑など自然を感じる。
・家の外観のような奥への通路も魅力的である。
・キッズスペースが充実している。
・住宅街にあるため地域の方々のコミュニティの場としての利用価値もある。

⑥秘密の本屋



読書スペース	×
勉強スペース	×
コンセント	×
カフェ	×
外から分かる	△
立地	○
駐車スペース	×
特徴的な要素	○
内観の工夫	○
外観の工夫	△
車いす ベビーカー	×

【住所】静岡県熱海市銀座町8-13 ロマンズ座1F

【特徴】・熱海の街で本が読める入場料は500円、3.5坪の小さなカギのかかった本屋である。
①チケットの購入
②お店でカギを借りる
③カギを開けて本屋に入る
④お店にカギを返す
・カギを借りるのに列ができるほどの人気の本屋でなかなか入れない。

⑦松本本箱ブックストア



読書スペース	○
勉強スペース	○
コンセント	○
カフェ	○
外から分かる	×
立地	×
駐車スペース	○
特徴的な要素	○
内観の工夫	○
外観の工夫	△
車いす ベビーカー	○

【住所】長野県松本市浅間温泉3丁目13-1

【特徴】・ホテルに併設した本屋であり、完全予約制の本屋である。
・元温泉旅館であったことを活かした室内空間が魅力である。
・「本の道」「げんせん本箱」「オトナ本箱」「三六五十二」「こども本箱」の五つのエリアに分かれている。
・天井が鏡のため、広々とした空間が展開していた。

⑧臈書茶房



読書スペース	○
勉強スペース	○
コンセント	○
カフェ	○
外から分かる	△
立地	○
駐車スペース	×
特徴的な要素	○
内観の工夫	○
外観の工夫	△
車いす ベビーカー	○

【住所】西池袋 豊島区 東京都 171-0021

【特徴】・装丁、題名の見えない本を販売する本屋&カフェである。
・カフェは一人用スペースも充実しており、エリアごとに異なる世界観であった。
・待合いの重厚感のある椅子とシャンデリアは、本屋にきたことを忘れる素敵な造りだと感じた。
・かなり人気の本屋のため品切れも多数あった。

⑨ちえすなっと



読書スペース	○
勉強スペース	○
コンセント	○
カフェ	○
外から分かる	△
立地	△
駐車スペース	×
特徴的な要素	○
内観の工夫	○
外観の工夫	△
車いす ベビーカー	○

【住所】大阪府豊中市岡町南1丁目6-13 ダイアコート 豊中 101

【特徴】・絵本ショップ&カフェである。
・絵本の数が多く、キッズスペースも充実している。
・こどもの目線に遊び心ある仕掛けが多い。
・開放的な空間のため、子どもの声がよく響く。
・全て古本のため手に取りやすい価格帯であり、比較的綺麗な商品が多い。

コンセプト

「絵本を通じて記憶や時間を共有できる場所」



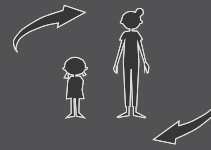
・絵本がもたらす影響

子ども⇄大人
子どもと大人の循環社会



絵本循環制度として表現

子供は絵本が記憶に残る



大人は過去を思い出す

・室内デザインコンセプト

子どもの要素を絵本にしたため、大人の要素を空間で表現するため、黒を基調としたデザインにしました。子どもは大人気分を味わえます。

・看板デザイン

角地を活かしたデザインにするため折り目をつけました。



【昼間】

子供：大人気分を味わいながら絵本を読む

大人：子供と一緒に絵本を読む

【夜間】

子供が絵本に夢中の間リラックスタイム

大人：幼少期を思い出す、新しい絵本に出会う

【役割】

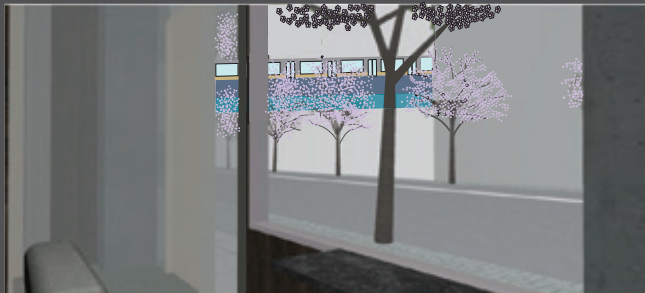
地域のコミュニティ

読書を広める場

地域の需要に合った本の提供

子どもが読む絵本は、記憶に残り、大人が読んだ絵本は子どもの頃を思い出すというループを、大人から子どもへ、子どもから大人へと互いに影響を与える循環社会として表現できないかと考えました。そこで、左の図にもある通り、子どもが選んだ絵本を大人が、大人が選んだ本を子どもが読める絵本循環の仕組みを取り入れました。

桜 × 電車



子どもの目線



子どもの目線



紅葉 × 電車



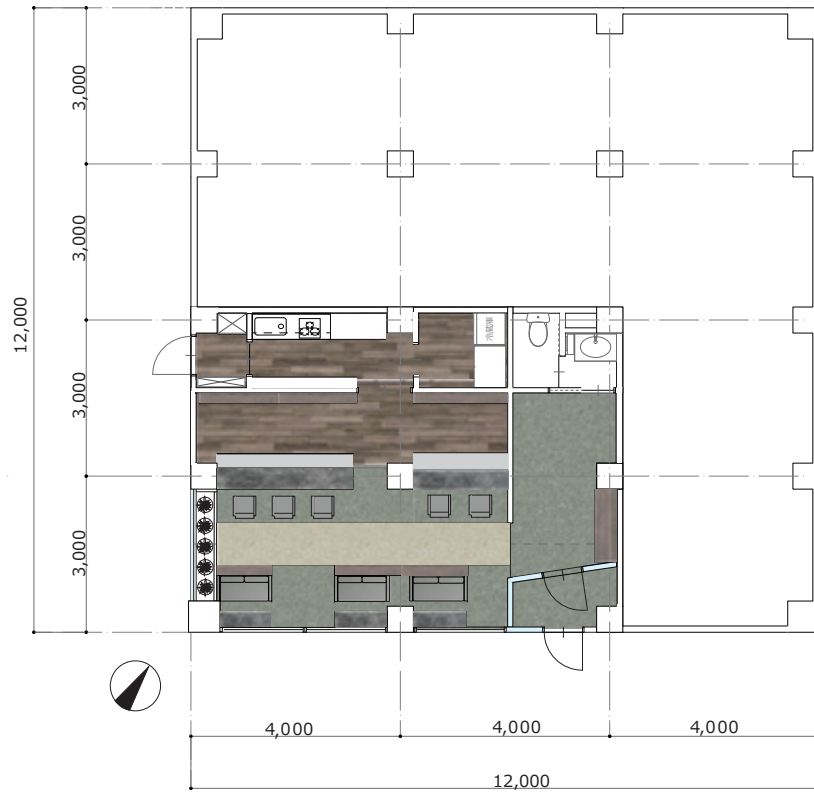
大人の目線



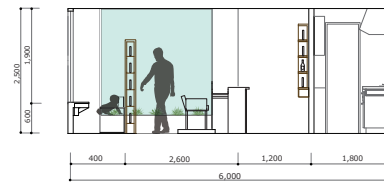
大人の目線



外観パース



平面図 1/50



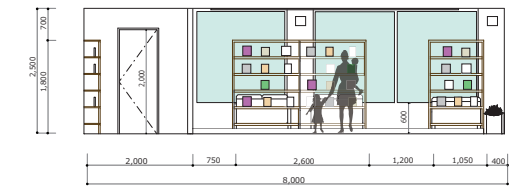
西側展開図 1/50



東側展開図 1/50



北側展開図 1/50



南側展開図 1/50



立面図 1/50

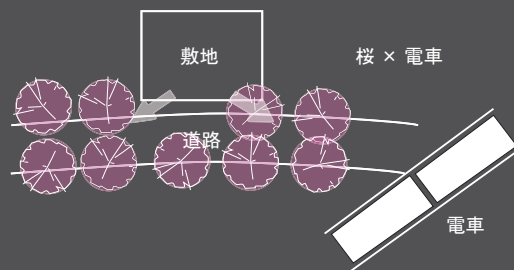


立面図 1/50

設計の過程

【1】 借景にこだわった敷地選び

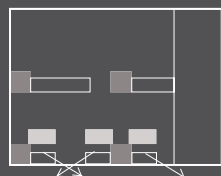
敷地を決める際に、その場所でしか見られない借景にこだわって選定した。絵本バーのターゲット層と一致している藤が丘に絞り、駅周辺の四季を感じられる桜や紅葉に加え、電車が見える場所を探した。
「桜・紅葉 × 電車」のここでしか見られない景色も含め、この場所でしか成立しない絵本バーを設計する。



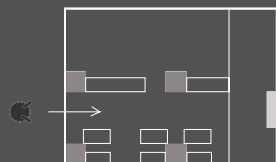
【2】 ターゲット・店内の雰囲気



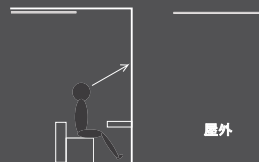
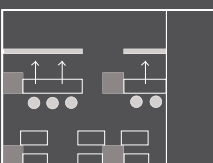
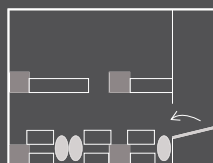
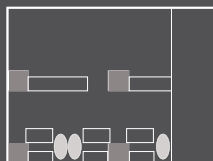
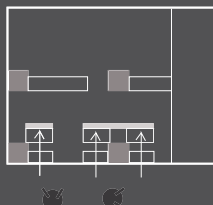
【3】 空間設計



①借景を取り込んだ空間設計
テーブル席からは、正面に桜や紅葉、斜めを向くと、桜・紅葉 × 電車が見られる。



②角地を活かした空間設計
左面をガラス張りにし、本棚が外を歩く歩行人にも見えるよう配置した。



③壁の役割をする本棚
本棚を壁代わりにすることで空間を広く保つ。また、通行人から本棚が見えるため、外から絵本バーだと伝わる。

④ベビーカースペース
ベビーカーに乗せたまま食事ができるようテーブル席のみベビーカースペースを設けた。

⑤壁を斜めに配置
ベビーカーの方でも曲がりやすいように配慮し、壁を斜めにした。

⑥バーカウンターから本棚へ
バーカウンターで読んだ絵本を本棚へ、本棚からバーカウンターへと本の入れ替えが起こる。

⑦バーカウンターからの視点
借景が取り込めない分、絵本やお酒を見て楽しめる。

⑧照明を反射させる
夜間は反射を利用して室内空間を少しでも広く感じてもらおう。

